



太田川河川事務所 Gogi通信

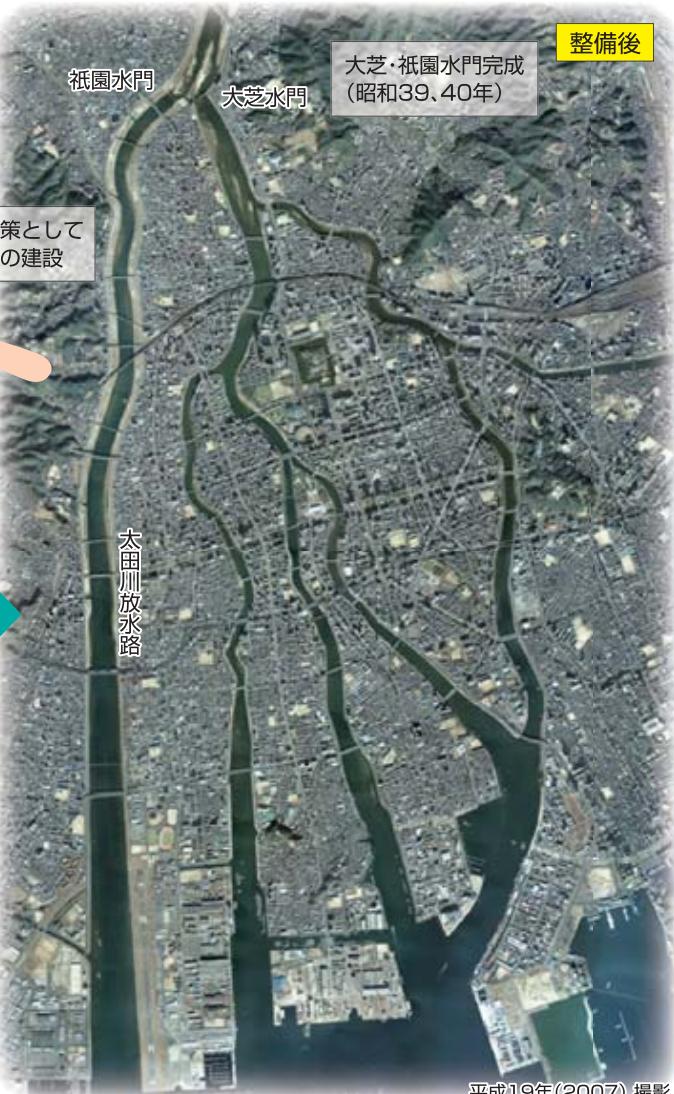
No.120

太田川河川改修80周年・ 放水路概成45周年



整備前

昭和22年12月(1947)米軍撮影



平成19年(2007)撮影

今年は太田川河川事務所(当時、太田川測量員詰所)が設置され、本格的な治水事業が始まつてから80年、太田川放水路の概成から45年を迎えます。

太田川の歴史は水害との歴史でもあり、大正8年や昭和3年には市内の主要な橋が多数流されるなど、多くの洪水被害に見舞われてきました。そこで広島市を水害から守るため、昭和7年に現在の国会にあたる帝国議会にて太田川放水路事業の実施が決定され、事業が開始されました。その後、太平洋戦争などで工事が中断されることもありましたが、昭和39年に大芝水門、昭和40年に祇園水門が完成、昭和42年に堤防整備を終え着工してから36年の歳月と145億円(平成2年換算で約3,200億円)を費やし太田川放水路が概成しました。

太田川放水路や堤防整備の効果により、昭和18年9月の大洪水では浸水面積2,200ha、被害家屋約12,000戸に達する氾濫が生じたのに対し、これを上回る出水をみた昭和47年7月洪水では、浸水面積200ha、被害家屋は約2,000戸にとどまるとともに、太田川下流部の一般被害は生じませんでした。

このように、太田川放水路は洪水から私たちの安全を守るとともに、広島市の発展に大きく貢献しています。

**太田川の歴史は
水害との歴史!**

太田川の渇水の心配はないのですか？

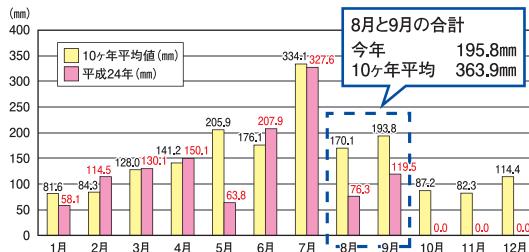


温井ダム
(平成14年3月完成)



貯水状況
(平成24年9月21日現在)

太田川流域 平均降水量(月別累計)



中国地方の国管理河川の渇水情報については、中国地方整備局ホームページ(<http://www.cgr.mlit.go.jp/kassui/h20map.htm>)でご覧いただけます。

今年は全国的にみて、東北・関東・中部地方で渇水傾向にあり、10月2日現在で国管理河川では利根川水系で取水制限、他の5水系で自主節水が行われています。太田川水系でも、降雨量が今年8月と9月合計は近年10ヶ年平均の5割程度となりました。しかし、現在、温井ダムの利水容量は貯水率98%（10月1日現在）となっており、渇水の傾向には至っていません。温井ダムは、利水容量を3,800万m³（時期によっては4,800万m³）を貯留しております。太田川水系で既往最大の渇水となつた平成6年には、約3ヶ月に及ぶ取水制限があり、一部地域では断水や生産制限など市民生活や経済活動に多大な影響をもたらしました。平成14年3月に完成した温井ダムが当時あれば取水制限期間を約1ヶ月半に短縮することができたと推定されます。温井ダムは広島都市圏の水瓶として重要な役割を果たしています。

なお、今後の降雨の状況によっては渇水となることも考えられます。



暑い屋外でしたが、多くの方が参加してくださいました。
太田川河川事務所では、河川や砂防に関する出前講座を行っています。
お問い合わせは当事務所まで。
☎082-221-2436

出前講座では職員がお邪魔して河川等についての取り組みや職員の専門的知識を生かしたお話をお届けしています。

業務上の理由や日程等条件によっては出前講座の依頼をお引き受けできない場合もありますが、太田川・小瀬川について、日ごろの疑問や興味のあることで、講座の出前を頼んでみてはいかがでしょうか。



川に入れば大人も子どもたちもテンションが上がります。

古川で『出前講座』を実施しました

身近な川を学んでみませんか？

7月29日、広島インター
チエンジに程近い古川小瀬
大橋下の高水敷きで、川
遊びを企画した住民団体

からの依頼で、出前講座を開催しました。

当日は猛暑の中、川遊び

のために水着姿になつた子
どもたちと、保護者の方

合わせて約100名の皆

さんも、古川の生きものや

防災・水難事故防止等につ
いて勉強しました。ほとんどの方が、身近な川にたくさん

の生きものが存在することや、突然の大雨発生時には
あつという間に水位が上昇することに対し驚かれていました。

出前講座では職員がお邪魔して河川等についての取り組みや職員の専門的知識を生かしたお話をお届けして

川と友達になろう！「水辺の安全教室」で体験学習を実施!!

地元の「かこがわ水辺の協議会」と連携して開催しました。



7月21日 小瀬川



7月22日 三瀬川

参加者の声

- ☆ライフジャケットを着たら浮く
- ☆石があって流れが急な場所は危ないことがわかった
- ☆川の流れはどこも強いことがわかった
- ☆いざという時は身の回りの物で助けることができるということがわかった

7月21日・22日、川を利用する際の安全意識の向上を目的として、NPO法人「川に学ぶ体験活動協議会」の講師による「水辺の安全教室」を開催しました。「水辺の安全教室」には、子どもから大人まで57人が参加。川で遊ぶ楽しさ、川に潜む危険、ライフジャケットの正しい着方などを学んだ後、実際に川に入って、泳ぎ方やスローロープを使った人命救助方法、ペットボトル等の身の回りの物で浮く練習等を体験しました。

太田川河川堤防及び砂防えん堤が、続々完成しています

太田川宇賀地区
堤防工事が完成しました



工事後の宇賀地区堤防の様子

観測史上最高水位を記録した平成17年9月の台風14号による床上浸水被害を契機に、平成19年度から太田川中流部で堤防の築造など、広島市安佐南区から山県郡安芸太田町の区間で床上浸水対策事業に取り組んできました。

このうち、広島市安佐北区の宇賀地区（広島市安佐北区安佐町）では、総延長約450mの堤防整備を計画し、地域の皆さまのご協力により平成21年度から工事を着手し、平成24年6月30日に無事完成了しました。



緑ヶ丘4号砂防えん堤（長さ37m×高さ10.5m）



井口台5号砂防えん堤（長さ41m×高さ7.5m）

このうち、平成24年8月27日に地区最初となる井口台5号砂防えん堤が完成しました。

広島市西区の井口台地区では6基の砂防えん堤を計画し、平成23年度から工事を着手しています。

このうち、平成24年8月27日に地区最初となる井口台5号砂防えん堤が完成しました。

【緑ヶ丘4号砂防えん堤が完成しました】

広島市安佐南区の緑ヶ丘地区では4基の砂防えん堤を計画し、平成21年度から工事を着手しています。

このうち、平成24年7月30日に地区2基目となる緑ヶ丘4号砂防えん堤が完成しました。

【宮園・四季が丘地区砂防事業が全建賞を受賞しました】



四季が丘4号砂防えん堤（右）と四季が丘5号砂防えん堤（左）、四季が丘3号流木捕捉工（手前）

全建賞は建設技術の活用ならびに公共事業の進め方やストックの運用の工夫により、突出した成果が得られた事業について社団法人全日本建設技術協会が表彰を行うものです。

宮園・四季が丘地区の砂防事業は地域の皆さまのご協力をにより用地買収から7年で12基の砂防えん堤を短期集中的に整備したこと、環境・景観に配慮しつつ工事を行ったことが評価され、平成23年度表彰事業として選出されました。

広島西部山系砂防事業を実施しています

太田川河川事務所では平成11年6月29日の土砂災害を契機に、広島市、廿日市市、大竹市の3市にまたがる地域で、広島西部山系直轄砂防事業を実施しています。

平成24年度は15地区で砂防えん堤の工事・用地買収を行っており、地域の皆さまのご協力により8月末までに3基の砂防えん堤が完成しました。今後も各地区に計画している砂防えん堤の早期完成に努めてまいります。

【あさひが丘11号砂防えん堤が完成しました】



あさひが丘11号砂防えん堤（長さ48m×高さ8m）

広島市安佐北区のあさひが丘地区では13基の砂防えん堤を計画し、平成22年度から工事に着手しています。

このうち、平成24年7月28日に地区2基目となるあさひが丘11号砂防えん堤が完成しました。



国土交通功労者を表彰

国土交通省では、毎年、国土交通行政に功績のあつた方を対象に国土交通功労者として表彰を行つています。

このうち太田川・小瀬川において、水門等操作員として長年にわたり水門・樋門・樋管の操作・点検に従事されている方々や今年退職された方々に対する、中国地方整備局長表彰式が、8月3日から30日にかけて可部出張所、安芸太田町役場、岩国市役所、安佐北区役所、大竹市役所、岩国市役所、安佐南区役所で行いました。

今年の対象者は、勤続10年表彰は5名、勤続20年表彰は4名、30年表彰は10名、40年表彰は3名、退職者は7名で、出席された方々には事務所長から表彰伝達がなされました。また、7月17日には、優良工事施工団体3社、優良業務請負団体3社、優良建設技術者3名、下請企業1社の太田川河川事務所長表彰を行いました。



安佐北区役所



可部出張所



大竹市役所



安芸太田町役場



安佐南区役所



岩国市役所

9月4日～7日に、「平成24年度キャンプ砂防in広島」を、砂防を学ぶ現役の大学院生・大学生の2人をキャンプ生として招き、実施しました。「キャンプ砂防」は、国土交通省が砂防の技術者を目指す学生を対象に、実際の現場で砂防を学ぶことを目的とし、実施しています。

キャンプ生は、広島西部山系直轄砂防事業の現場や広島県が実施した宮島の紅葉谷の庭園砂防、白糸川の砂防の現地において、住宅街の直近で工事を行っている様子や、宮島の観光地における砂防施設など、広島特有の砂防事業に深く興味を抱いていました。

参加したキャンプ生は今後、全国で展開する砂防事業を担う技術者として活躍することが期待されます。



岩判定を体験するキャンプ生

「キャンプ砂防in広島」で現役学生が砂防を学びました

河川愛護意識を育もう! クリーン太田川・小瀬川を実施しました

河川愛護月間である7月29日、河川一斉清掃「クリーン太田川」「クリーン小瀬川」が実施されました。

今年で20回目の開催となった「クリーン太田川」には太田川流域内において約21,000人、「クリーン小瀬川」には小瀬川の国直轄管理区内において約1,400人の参加をいただき、各所において、河川に散乱するゴミを回収していただきました。



夏真っ盛りの日射しの中、清掃していただきました。

